

2018年11月2日 第3266回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 北村 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *通訳 高橋 栄子 様

<ビジター紹介> *横須賀北ロータリークラブ 次年度会長 千葉 茂 様
 次年度副会長 前川 永久 様
 次年度幹事 平林 祐樹 様

<お 祝 い> *藍綬褒章受賞 飯塚 進一郎 会員

<誕生月祝> *・井 貫 (S. 3.11. 2) ・越川 昌光 (S. 22.11. 3)
 *長尾 和典 (S. 31.11. 3) ・中島 洋 (S. 46.11. 3)
 *前川 静子 (S. 19.11. 3) ・長堀 薫 (S. 28.11. 6)
 *佐久間 博一 (S. 19.11. 7) ・外木 祥司 (S. 27.11. 7)
 *上原 公一 (S. 37.11.16) ・齋藤 慎太郎 (S. 30.11.23)
 *澤田 菊江 (S. 16.11.24)

各会員

<入会月祝> ・新倉 定治 ・兼城 毅 ・鈴木 之一
 ・臼井 健

各会員

<ご挨拶> *横須賀北ロータリークラブ次年度会長 千葉 茂 様

<会長報告> *移動例会 報告

10月26日 (金) 開催場所:米山記念館 出席者33名
 米山梅吉翁墓前ご挨拶 米山奨学会のご説明
 10月27日 (土) 葦山反射炉見学、三島スカイウォーク散策

<委員長報告> *雑誌委員会 門井委員よりロータリーの友の紹介
 (横P3・14・18・32 縦P10・21)

*出席委員会 福西委員長より10月席報告 10月分平均出席率 **74.61%**

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
10月5日	121名	107名	70名	37名	15名	79.44%
12日	122名	110名	75名	35名	11名	78.18%
19日	122名	99名	62名	37名	12名	72.55%
26日	122名	95名	34名	61名	37名	68.27%

*インターアクト委員会 小林委員長より委員会・アクターズミーティング 報告

*社会奉仕委員会 物井委員長よりポリオ撲滅募金活動について

11月4日 (日) エンドポリオナウ ポリオ募金活動 於：どぶ板広場

<幹事報告> *第2期会費納入のお願い

<出席報告> *出席委員会 福西委員長より11月2日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
122名	108名	78名	30名	6名	77.06%

<ニコニコ報告>

- ・千葉 茂様 (横須賀北RC次年度会長) 北ロータリーの次年度三役でお伺い致しました。どうぞよろしくお願ひ致します。
- ・前川永久様 (横須賀北RC次年度副会長)、平林祐樹様 (横須賀北RC次年度幹事)
 本日はお世話になります。宜しく御願ひいたします。
- ・田 邊、八 巻、山 ・、高橋 勲、新倉 健、吉 田、
 佐久間、齋藤 眞、小 沢、小佐野、濱 田 各会員

横須賀北RC千葉次年度会長様はじめ三役の皆様、ようこそお越し頂きました。
ごゆっくりお過ごしください。

- ・岩崎、吉田、福西、新倉、猿丸、長尾、八巻、久保田、濱田、田邊、明野、山・、勝間、谷、小佐野、高橋、澤田、物井、大竹、宮島、鈴木、渡邊、若麻績、根岸、佐久間、齋藤、岡、小沢、上林 各会員
飯塚会員、藍綬褒章受章おめでとうございます。地元でもRCでも大活躍。
これからも益々お元気で。
- ・飯塚会員 藍綬褒章をいただくこととなりました。ありがとうございます。
- ・越川、長尾、佐久間、外木、澤田 各会員 誕生月祝いとして
- ・新倉、兼城、鈴木 各会員 入会月祝いとして
- ・三役 角井駿輔会員、本日の新会員卓話よろしくお祈いします。
- ・小平、新倉、吉田、松本、福西、新倉、山田、梁井、中村、菅野、原田、八巻、濱田、勝間、高橋、澤田、物井、大竹、門井、中山、丸山、兼城、上林、宮島、鈴木、若麻績、小林(-)、根岸、Enora、齋藤、齋藤、長尾 各会員
角井会員、新会員卓話宜しくお祈いします。本日の一発ギャグも会員一同楽しみにしています。
- ・角井会員 本日、新会員卓話をさせていただきます。疑問点がありましたら随時ご質問ください。
- ・中村、高橋、高橋、門井、齋藤 各会員 三島への移動例会行ってきました。米山梅吉翁について深く学び美味しいモノ沢山食べて、美しい景色も満喫できて良い思い出となりました。
- ・1番テーブル岡田マスター、濱田サブマスター 10月29日、1番テーブルミーティングを甲羅本店にて開催しました。齋藤幹事、三宅さんにも出席いただき、三春町・鴨居・浦賀・久里浜・根岸町の結束が固められて楽しいテーブルミーティングでした。小沢会員には美味しいお料理、お土産を有難うございました。
- ・外木、齋藤、岡 各会員 先日10月29日、甲羅本店で1番テーブルミーティングを開催しました。美味しいお食事とチーズケーキありがとうございました。
- ・菅野、高橋 両会員 10月29日、1番テーブルミーティング欠席しました。申し訳ありません。
- ・3番テーブル勝見マスター 先日の3番テーブルミーティングにご出席の皆様ありがとうございます。少人数での開催でしたが、とても楽しく過ごさせて頂きました。江沢副会長ご出席ありがとうございました。
- ・加藤、植田、兼城、加賀本、増田 各会員 先日10月30日、あら井にて3番テーブルミーティングを開催しました。当日は江沢副会長にもご出席頂き、楽しい一時を過ごしました。また、勝見マスターからお酒、高橋仁子会員から美味しい料理とお土産ありがとうございました。
- ・5番テーブル田邊マスター 昨日は5番テーブルミーティングに齋藤幹事、事務局三宅さんに御参加頂きありがとうございます。大変楽しく盛会のうちに終了することができました。小沢会員には色々御配慮を頂きましてありがとうございます。感謝申し上げます。
- ・新倉、山田、齋藤、角井、中山、若麻績、小林(-) 各会員
昨日11月1日、甲羅本店で5番テーブルミーティングを開催しました。少人数でしたが、おいしい料理とお酒を楽しみました。小沢会員チーズケーキありがとうございます。
- ・瀬戸、長坂、岩瀬、杵渕、宮島、三堀、杉山 各会員
去る10月31日、観音崎京急ホテルで6番テーブルミーティングを開催しました。楽しく船を見ながら美味しい食事をいただきました。ありがとうございました。
- ・小山雑誌委員長 門井会員、ロータリーの友の紹介を宜しくお祈いします。あまり上手に紹介しないでください。私の委員長の立場がありますので。。。。。
- ・越川 会員 第11回横須賀ちょい呑みが11月14日～17日迄開催されます。今回は75店舗の参加です。チケットは会議所2Fで発売中です。

・瀬戸、北村、加藤 博、田邊、山田 輔 各会員 写真をいただいて。

<新会員卓話>

～ 人生と共に『平成』を振り返る ～

角井 駿 輔 会員

皆様こんにちは。本日、貴重な時間を頂戴して新会員卓話をさせていただき角井でございます。先日、齋藤幹事より卓話のお話をいただいてから、どんな話をすればよいかいろいろと考えたのですが、ふと考えると、来年の4月いっぱい平成が終わるというタイミングでの卓話のお話ですので、現在32歳の私が人生を振り返れば、平成という時代について語ることもなるのではないかと思立ちました。拙い話になるかと思いますが、温かい心でお聞きいただければ幸いに存じます。改めまして、私は昭和60年12月24日に衣笠病院で生まれました。父親は、昭和29年に横須賀市三春町で生まれ、横須賀市立工業高校を卒業後、株式会社大林組に入社しました。横須賀の現場で所長を務めていたこともありますので、会員の皆様の中には父のことをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。母親は、昭和32年に横須賀市浦賀町で生まれました。緑ヶ丘女子中学・高等学校を卒業後、丸井横須賀店で勤務し、私を出産した後は専業主婦になっています。母親は、ひとりっ子で、結婚する際に母方の祖父母と同居する形で浦賀に家を構えましたので、私は生まれて以来一部の例外を除いて、ずっと浦賀に住んでいます。また、私には、弟が一人いるのですが、平成2年生まれで年が5歳離れていますので、5歳になるまではひとりっ子として育ったようなものでした。今でも、「角井さんって兄弟いるのですか。」と聞かれることがあるのですが、私から長男の品格が漂わないのだとすれば、そのような事情によるものです。弟は、有料老人ホームの営業マンをしています。3歳まで自宅でNHK教育テレビを見て育った私は、平成元年にぎんなん幼稚園に入園します。幼稚園では、鍵盤ハーモニカで「アイダ」を吹いたり、習字で自分の名前を漢字で書いたり、富士山中腹にある宝永山に登ったりしていたのですが、それと同時に大滝町にある小林楽器オクターブセンターのヤマハ音楽教室に通うなど、多忙な日々を過ごしておりました。

平成4年に浦賀小学校に進学しましたが、地元の活発な同級生とはそりが合わず、激しいいじめの対象になりました。また、平成7年の阪神大震災とオウム真理教事件や平成9年の酒鬼薔薇聖斗事件と山一証券破綻のニュースは、子供心に暗い影を落としました。私にとっての90年代は、いつも曇天のイメージです。その後、私は、平成10年に浦賀中学校に進学します。相変わらず日々生きることは大変でしたが、勉強が好きだったので、はっきりと成績が付くという点において小学生の頃より気が楽でした。私は中学進学と共に、浦賀駅前にある「アダス」という学習塾に通い始めるのですが、中学2年生の個人面談の際に、「角井は将来何になりたい。」と聞かれたのです。それまで将来の夢については、全然考えていませんでしたので、困った私は中学校の図書館を訪ねました。中学校の図書館には職業に関する本のコーナーがあったのですが、そこで「検察官になるためには」という本が私の目に留まりました。それまでに聞いたこともないその「検察官」という職業の響きに惹かれた私は、内容をじっくりと読むことにしました。すると、検察官は、刑事事件のスペシャリストとして被疑者を起訴するかどうかを判断できる権限を持ち、その権限は検察庁という組織ではなく、検察官個人が有していると書いてあったのです。この記述はまさに目から鱗でした。それまで、そのような強大な権力は、組織が行使すると思っていたのですが、検察官という個人がその権限を行使するという説明に感動した私は、その日から検察官を目指すことにしました。そうです。私は弁護士を目指していたわけではないのです。こうして、私は塾の先生に検察官を目指すことを伝え、それに合わせた進路を選ぶことになったわけです。

平成13年、私は神奈川県立横須賀高校に進学します。ここからは、日頃呼んでいる横高（よここう）という呼称で呼ばせていただきたいのですが、私が横高に入った直後に小泉純一郎さんが総理大臣になります。横高前にはテレビクルーが殺到し、てんやわんやの大騒ぎ。次に、平成14年の春、俳優としてブレイクしていた窪塚洋介さんがCM撮影のためお忍びで横高を訪れ、これまたてんやわんや。そして、平成14年秋には小柴昌俊先生がノーベル物理学賞を受賞され、またしても報道各局が押し寄せててんやわんや。毎年何かしらのお祝いがあって楽しい日々でした。私は入学してすぐに科学部に入部します。天体観測やアマチュア無線コンテストを行っていましたが、基本的には、朝学校に着くと部室に行って、授業には部室から通い、お昼ご飯も部室で食べ、放課後に部活をして家に帰るといった感じでした。横高は3年間クラス替えがない

のですが、その割にはなかなかクラスメートと仲良くなりません。その理由としては、みんな部活をやっているから、クラスで過ごす時間があまりないからであるように思われます。また、私は1年生の1月に音楽部にも入部します。音楽部とは、いわゆる合唱部のことで、昭和38年にはNHK全国学校音楽コンクール合唱の部全国大会で全国優勝しています。私の頃は、コンクールには参加しなくなりましたが、毎年8月頃に行われる定期演奏会に生活のすべてをつぎ込んでいました。この時が人生で最も青春を感じていた時です。最もモテていた時期だと思います。この頃の世の中は、21世紀になって明るい世の中になったと思いきや、平成13年9月11日の同時多発テロからはずっと暗い日々でした。横須賀の米海軍基地の警戒が強化されたため、国道16号線は連日激しい渋滞が発生するようになり、バス通学をしていた私は、その影響をもろに受けることになりました。とは言っても、横高の先生も同じバスに乗っているから、多少の遅刻であれば咎められることはありませんでした。

また、私の夢との関係では、平成11年から始まった司法制度改革がとても重要でした。法科大学院制度と新司法試験の導入によって、司法試験の合格率は当時の3%から70~80%に上がると言われていました。その話を聞いた私は油断します。「難関大学に行かなくても司法試験に合格できるかもしれない」と。そして、そのような甘えは試験結果にすぐ結びつきます。現役のときに受けた大学はすべて不合格。1年間の浪人を経ても第1志望の大学には受からず、法政大学に進学することになります。こうして、平成17年に大学生活が始まるわけですが、そのころは小泉政権まっただ中です。同じ年の9月に行われたいわゆる「郵政選挙」では、自民党が圧勝し、憲法の授業では教授が「民主主義は死んだ。」と言って授業にならず、他の授業では学生が授業中におでんを食べて教授が激怒し授業にならず、さらに私は勉強しなくなります。それでもサークルは、「国際法研究会」というお勉強サークルに入り、ゼミでは元最高検察庁検事の教授が行う刑事政策ゼミに入ったりして、それなりに夢に向かって努力はしていましたが、毎日酒ばかり飲んでいてような気がします。時は平成19年。リーマンショックがやってくる前夜のことです。就活市場は超売り手市場、他の同期は大学3年生の2月には内定が出て、4年になってからはバイトをするか旅行に行くかしかやることがないというありさま。その一方、私と言えば、毎年大量の単位を落とし続けたせいで、4年になっても40単位近くを履修するという体たらく。1年生に交じって語学や一般教養の授業を受ける毎日でした。ところがリーマンショックの到来以降、突然氷河期がやってきます。影響が直撃したのは私よりも下の世代ですが、私の期でも内定切りなどが問題になりました。そんな中、私は奇跡的に法科大学院入試に合格し、さらに奇跡的に単位も取れて無事卒業することになります。

平成21年、私は学習院大学法科大学院に入学します。法政大学と学習院大学は、イメージ的には対極にあるような大学ですが、私の性格には法政的な部分と学習院的な部分があるので、進学先としてはうってつけでした。それからの3年間はひたすら勉強に打ち込みました。酒もほとんど飲んでいません。後にも先にもあれだけ勉強したのは、法科大学院での3年間だけです。平成23年3月11日は、学校の自習室で震災を経験しました。自習室は9階にあるのですが、とてつもない横揺れだったので、キャスター付きのイスごと外に投げ出されるのではないかと思うほどの恐怖感でした。そして、私は平成24年の3月に学習院大学法科大学院を修了し、その年の5月に行われた司法試験で無事合格することができました。司法試験に合格すると、司法修習生として1年間の修習に行かなければならないのですが、私は長崎修習になり、初めての一人暮らしを誰も知っている人がいない土地で開始します。弁護士の先生方は、「人生で一番楽しかったのは、修習時代だ。」とよくおっしゃいますが、私の期は修習中に一切給料が出ない貸与制の世代ですので、常に金勘定ばかりしていましたし、就職状況は超氷河期でいつまでも内定が出ない日々でしたので、あまり楽しかった記憶はありません。それでも、修習同期と過ごした日々はかけがえのない思い出です。そして、平成25年の9月に和光市にある司法研修所で集合修習を行い、司法試験よりもはるかに難しいと個人的に思っている修了試験をなんとか合格し、最後の最後でようやく内定も手に入れ、平成26年から弁護士として活動しています。始めは、新橋に本店がある弁護士法人泉総合法律事務所の横須賀支店で勤務していたのですが、まあいろいろありまして1年で事務所を辞めることになってしまいました。安月給で働いていたので、開業資金すらなかったのですが、高校の部活の後輩のお父さんが持っているアパートの一角を破格の値段で貸してもらい、現在に至るまで富士見町で事務所を運営しています。

また、平成27年の6月に弁護士の先生方と当時あった「こせんや」というお店に飲みに行った際に司法書士の長坂先生と初めてお会いし、ローターアクトへの参加を誘われたことが現在のロータリーライフにつながっています。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 山田 真悟



11月例会案内

第1060回例会

- ①日 時： 11月13日 (火) 18:30~19:30
- ②会 場： 大滝会館2F ホール TEL823-0041
- ③登録料： RC 1,000 円
- ④内 容： 年次大会打合せ
- ⑤× 切： 11月9日 (金)

第1061回例会

- ①日 時： 11月27日 (火) 18:30~19:30
- ②会 場： 大滝会館2F ホール TEL823-0041
- ③登録料： RC 1,000 円
- ④内 容： 年次大会打合せ
- ⑤× 切： 11月22日 (木)

連絡先：090-1722-4326 会長：深見健太郎